

# ますだしりつれきしみんぞくしりょうかん 益田市立歴史民俗資料館

現在改修工事のため休館中

## きゅうみのぐんやくしよ (旧美濃郡役所)

### 1. 建物の概要

所在地	益田市本町
所有者	益田市
建築年代	大正 10 (1921) 年
登録年	平成 8 (1996) 年
構造等	木造平屋建・瓦葺
建築面積	340 m <sup>2</sup>



【休館前の歴史民俗資料館】

### 2. 沿革

大正 10 (1921) 年に美濃郡役所として完成。郡制廃止後は警察や県の庁舎として使用。昭和 56 (1981) 年に益田市に払下げ。昭和 58 (1983) 年に歴史民俗資料館として開館。平成 31 (2019) 年に休館、現在改修工事中。

### 3. 建物の特徴

正面に車寄せと左右前方に突出する入母屋造りの翼屋が付く平面構成である。外壁は上部が真壁造りの漆喰塗り、下部が杉の下見板張りとし、下見板張りとしたその上に板の小庇(猿頭庇)が取り付けられ、一見すると2階建の建物のような外観となっている。屋根は来待釉の石州赤瓦で葺かれている。



【益田警察署時代の写真】

この建物は、近年の災害復旧と利活用のため内部が大きく改修されているが、外観は創建当初の姿を残しており、山陰における郡制時代(1890~1923)の庁舎建築として価値が認められる。庁舎の全体的な意匠は、同じく山陰の旧周吉外三郡役所(現隠岐郷土館)のようなペンキ塗りでバルコニーを持つ擬洋風の建物ほどシンボリックな建物ではないが、地方の近代化を示す大型和風公共建築として位置づけられる。

そのような点が評価され、文化財保護法の改正により文化財登録制度が始まった平成 8 (1996) 年に津和野町役場(旧鹿足郡役所)などとともに県内登録第 1 号の登録有形文化財となった。